

【2025 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 理学療法学コース/理学療法学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
理学療法研究法		必修	1	3	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
石井 智也	D312	tomoya.ishii	火曜日 11:00~12:00		
授業の目的・概要	<p>昨今エビデンスに基づいた理学療法の実践の必要性とともに、エビデンスをつくる理学療法研究活動の発展が強く求められている。本授業は、講義やグループワーク演習を通して、研究の必要性、研究倫理、研究計画の立て方、論文執筆の方法等について学び、自身で一から研究計画を立てることを通して、理学療法研究法について理解することを目的とする。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学习) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> PBL <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・デベート <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク				
学習上の助言	<p>教科書と配布資料等を利用し、学生同士、教員との意見交換を行い、研究法の理解を深める。さらに将来的に卒業研究や、学会発表や論文発表をする可能性を見据えて授業に参加することが望ましい。</p>				
教科書	理学療法研究法/編著:対馬栄輝/医歯薬出版/2021				
参考書	理学療法研究法 第3版/編:内山靖、島田裕之/医学書院/2013				
外部教材	特になし				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	研究の目的とその概要について理解し、説明できる。			RH (2)、(5)、(6)	
②	研究計画の立案と実施方法について理解し、説明できる。			RH (2)、(5)、(6)	
③	研究倫理と研究不正の問題などについて理解し、説明できる。			RH (1)	
④	一つの研究計画書を一から作成することができる。			RH (1)、(2)、(5)、(6)	
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等		授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)	
1	研究の必要性：理学療法を取り巻く学問領域・なぜ研究が必要であるかということについて学ぶ。	[担当] 石井	講義・PBL	理学療法を取り巻く学問領域について教科書と配布資料で確認する。	3
2	研究倫理：過去に行われた人体実験とヘルシンキ宣言、実験データの捏造、改竄などの研究不正について学ぶ。	[担当] 石井	講義・PBL	過去に起こった研究不正、ヘルシンキ宣言などについて教科書と配布資料で確認する。	3
3	研究テーマの決め方：基礎研究、臨床研究の概要、文献検索の方法などについて学ぶ。	[担当] 石井	講義・PBL	各種データベースから実際に文献を検索し、検索方法について教科書と配布資料を確認する。	4
4	研究計画の立案・実施 1：研究対象の選び方、計測・調査の方法などについて学ぶ。	[担当] 石井	講義・PBL	教科書と配布資料を通して興味のある研究テーマを調べ、研究デザインを考える。	4
5	研究計画の立案・実施 2：データ収集について学ぶ。	[担当] 石井	講義・PBL	教科書と配布資料を通して立案した研究計画におけるデータ収集の方法を考える。	4
6	研究計画の立案・実施 3：データ収集、データの解析・解釈方法などについて学ぶ。	[担当] 石井	講義・PBL	教科書と配布資料を通して立案した研究計画におけるデータの解析・解釈方法を調べる。	4
7	研究計画の立案・実施 4：論文の書き方について学ぶ。	[担当] 石井	講義・PBL	教科書と配布資料を通して論文の書き方を確認する。	4
8	研究計画の立案・実施 5：論文の書き方について学ぶ。	[担当] 石井	講義・PBL	教科書と配布資料を通して論文の書き方を確認する。	4
試	成績評価 到達度評価・評価のポイント参照				

【2025 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 理学療法学コース/理学療法学科】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	100	0	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	0	30	0	0	0	30
	思考・推論・創造する力	0	30	0	0	0	30
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	20	0	0	0	20
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
	問題を発見・解決する力	0	20	0	0	0	20
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	授業内容の理解とともに、教員からのフィードバックを踏まえ、論理的かつ自分の言葉で意見を述べているかなどがレポート課題の評価のポイントになる (100 点満点)。レポート内容、採点基準は講義時に提示する。				必要に応じて試験の添削、開示を行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	なし						
教 員 の 実 務 経 験	理学療法士としての 5 年以上の実務経験を有しており、基礎研究に従事している。						
実 践 的 授 業 の 内 容	グループワークを中心に情報収集、データの解釈、学術的な文章の書き方を実践する。						
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ・受講態度に問題がある場合、注意しても守れない学生は退室してもらう。 ・フィードバック、意見交換の機会は授業時間内に実施する。 ・今後の感染症の状況など、社会情勢に応じて再度シラバスの変更が生じる可能性がある。 ・学生の理解度などに応じて授業計画を変更することがある。 						